

特集

道路、実地検証!

維持管理で支える、安全・安心なくらし。



道路にへこみがあったり、穴があいていた
りすると、歩行者がつかずいたり、自転車
が転倒するなどの原因となり、雨の日には
水たまりができて、通行の妨げや危険のも
となります。

また、ガードレールやカーブミラーなどが
壊れたままになっていると、思わぬ大事故に
つながることも考えられます。

あまりにも身近で、その重要性が見過ご
されがちな「道路」ですが、人や車の通行だ
けでなく、電気、ガス、上下水道も収容す
る大切なインフラでもあり、快適な日常生
活や順調な社会活動を確保するために、な
くてはならないものといえます。

そこで今月は、みんなが利用する身近な
道路について考えてみましょう。



岡谷755号線

103号線(西堀通り線)



市は、道路の補修に必要な車両や各種資機材を備えて、専門の職員による点検パトロールを日々実施。道路の破損、道路照明灯、ガードレール、カーブミラーなどの点検・修理に速やかに対応しています。相談窓口寄せられた市民のみなさんからの要望が所もただちに調査し、小さな陥没や穴などはその場で修繕、安全な道路の維持に努めています。工事が必要な場合は、交通に与える支障をなるべく少なくする最善策を検討。状況に応じて、市直営の補修班が出動する場合と専門業者と契約し行う場合がありますが、歩行者、住民、環境への配慮のもと、短期間で合理的に行います。

市のしごと

迅速・的確な補修・補強で市道を維持、市民の安全・安心を守ります。

パトロール



小さな道路の破損確認

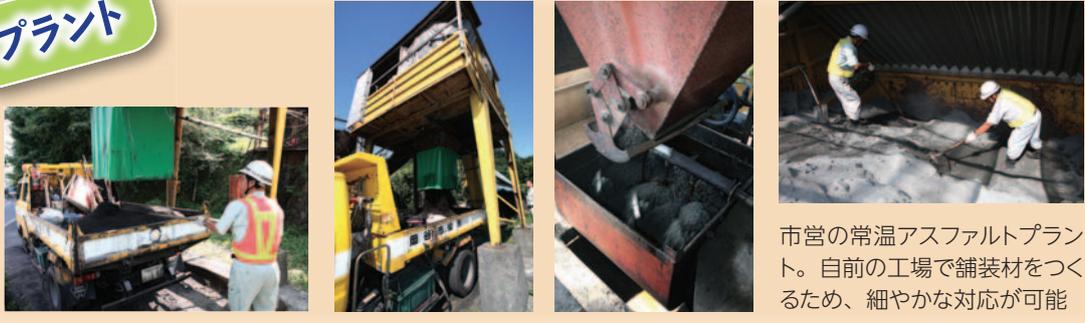
資機材を積んでパトロール

街路灯の電源を点検

交通安全に気を配り、ただちに補修

側溝の流路を確認し、ゲリラ豪雨などへの対策を練る

プラント



市営の常温アスファルトプラント。自前の工場で舗装材をつくるため、細やかな対応が可能

直営補修班



アスファルトを入れ

舗装をはぎ、たいらにして

印をつけ、草やごみを除きます

直営補修班のこの日の作業は、亀裂が入ったり崩れたりした路面を修復

均一にならし

砂をまいて

転圧して仕上げます

きれいになりました



情報が早ければ、損傷が軽微な段階で計画的な修繕を行うことができ、道路の安全性向上と長寿命化が図れます。「道路に穴ぼこができていて、事故が起きそう」「事故が起きてしまった」「街路樹の枝が、道をふさいでいる」「ガードレールが破損していて危険」「側溝のふたが欠損している」「道路が冠水して通行できない」「照明灯が夜になっても点灯しない」などに気づいたら、まずは市土木課へお知らせください。道路は、使う人のもの。安全で快適に利用できるよう協力し、安心なくらしにつなげていきましょう。

道づくりは地域づくり



武藤 雅晃区長

「4月、区内全戸にアンケートを配りました。家の前や近くの道路が快適かどうか、不具合がある場合には、その状況を書いてください、というものです。生活道路の状況

は、身近に利用する人が誰よりもわかるので、わたしたち区の役員も、地域を把握する意味で、要望のあった場所をそれぞれ確認のうえ、市に相談しました。

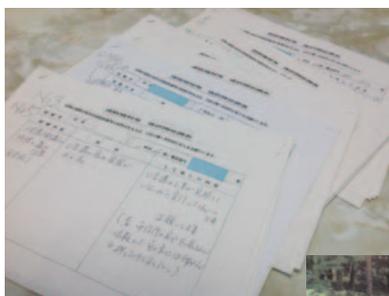
すると、危険か所を優先的に直しましょう、とすぐに連絡があり、早速直ったところも数か所あります。「取り上げてもらって、直してもらって、よかった」「対応が早くて驚いた」と区民も喜んでます。アンケートの要望のなかには、所有者が行うべき私道の懸案などもあったのですが、個別にわかりやすい回答や今後の解決への道すじを示していただき、区民の納得や共感を得ることができました。

数年前ですが、常現寺沢公園への取り付け道路は、当時の区建設委員が中心となり、区民の協力で整備しました。市へは資材の調達のみ依頼し、自分たちでできることは自分たちでやっということと実施しました。あれもこれも行政まかせとはいかない時代だからこそ、協働や共助の意識を持ち、自分たちの財産を自分たちで守るよう努めることも大切ですね。」

中村区の道路整備



「防災の日」の前後には、区民から寄せられた道路などの問題か所の補修前と補修後の写真を区民センターに展示



区民から寄せられた要望書



常現寺沢公園の道路も区民で整備



ひび割れ、陥没、傾斜が見られた道路も補修により快適に

発見も大切な役目。
その一声が、危険や災害を予防します。

花岡区の道路整備



区長、副区長と現場へ



こんな状態だった道路



古いコンクリートをはがして整地。メッシュを入れ、水を逃がす水切りも設置し、コンクリートを流す打設まで、本格的な舗装を区民の手で



きれいで安全に

小口 久一 区長



「小田井沢の上流、唐傘平へ通じる林道は、山林作業に欠かせない道。災害以降、山の管理、水源の保護など環境整備の重要性が見直されて、利用する機会も増えていたのですが、雨が砂利を流し、わだちは深く道をえぐり、コンクリート舗装だった所でも、凍み上がってひび割れた破片が崩れて飛び散るなど凹凸が激しく、何とかしなければ、という声が地元からわき上がっていました。市に頼っているばかりでは、予算などの都合、計画の優先順位などもあり、早急にはいかないで、直せるところから自分たちで、できる範囲でやっということになり、6月に試験的な意味も込めて、とくに損傷の激しい10メートルの区間で舗装工を行い、9月中旬には、その先へ20メートルほど舗装を延長する工事を、ふたたび行いました。生コンクリートと水切りは市から提供していただきましたが、作業は、湊支所職員や地元業者の協力を得て、すべて区民のボランティアで実施しました。修繕できたのは、車で通るとあっという間の範囲ですが、これから数年かけて、少しずつでも舗装を延長していく予定です。市と地元が、お互いのできることで役割分担し、さらに協力することで、住みよい地域をつくっていかれると実感しています。」

（この部分は上記の引用文の一部を再掲し、読みやすさを考慮して改行や段落を調整しています。）

「雪かき」はみんなで!

快適でやさしい「おかや」のまちへ

本格的な冬を迎えると、安全な通行確保のため、降雪時の雪かきは欠かせません。市では、積雪状況に応じて、市道のうち主要な幹線道路、シルキーバス路線などの除雪や凍結防止剤の散布を行っています。短時間に全域の除雪をすることは困難なうえに、除雪業者数の減少などにより、雪対策に取り組む環境が、より厳しいものとなつてきています。高齢化や空き家の増加など、新たな課題への対応も必要となり、除雪にも、地域ぐるみでのきめ細かな取り組みが求められています。自宅前、通学路、日陰、要援護者宅といった地域の雪かきには、住民の助け合いが必要です。身近な道路の雪かきにみんなが参加しましょう。

また、除雪に必要な凍結防止剤(融雪剤)は、各区に配布していますので、

必要の際は区に連絡し、ご使用ください。



凍結防止剤散布の注意

降り積もった雪、厚い圧雪に散布しても効果がありません。雪の降り始め、または除雪をしてから散布しましょう。